

第三種郵便物承認 HSK通巻 5719 号 2023年6月13日発行

HSK

会報「石川守る会」

NO.100

石川県重症心身障害児（者）を守る会
全国重症心身障害児（者）を守る会
石川県支部 ・ 会長 山本 衛

例年になく早く桜が咲いたと思ったら、急に寒さがぶり返したり、初夏のように暑くなったりと落ち着かない天候が続いていますが、 会員の皆様方、お子様たちは体調を崩したりされていませんか。

そんな中、新型コロナの法的な位置付けが、5月8日より「5類」に引き下げられました。行動制限に関する法的根拠がなくなり、対策は個人の判断に委ねられます。

しかし、高齢者や重症心身障害児者にとってはまだまだ心配な状況です。

十分な対策を講じながら少しずつ活動を再開できればと考えています。

能登では5月5日震度6強の地震が発生し家屋の倒壊など大きな被害が出ています。能登地区の会員のみなさんお怪我や住宅の被害はなかったでしょうか。

本部からも被害状況の問い合わせとお見舞いの連絡がありました。

まだまだ余震が続いていて不安な日々をお過ごしのことと思います。

これ以上の大きな地震がこないことを祈るばかりです。

第三種郵便物承認 HSK通巻5719号 2023年6月13日発行
2023年度

「石川県重症心身障害児(者)を守る会」総会のご案内

日・時 2023年6月17日(土) 14時00分～

場 所 医王病院 中病棟3階 地域医療研修室

- 議 題
- ・2022年度活動報告
 - ・第32回東海・北陸ブロック大会報告
 - ・2022年度会計報告及び監査報告
 - ・2023年度活動方針案及び予算案
 - ・役員について
 - ・意見交換

新型コロナウイルス感染拡大のため3年間開催できなかった総会を今年は開催します。皆さまがたとお会いして「石川守る会」の今後の活動について話し合いたいと考えています。コロナ禍でのお互いの様子も出し合いながら、みんなが安心して充実した日々を送るには何が必要なのか話し合しましょう。

会としては感染の状況も見ながら少しずつでも会う機会を持ちたいと思っています。子どもたちにも何か楽しい取り組みが出来ないか考えてみたいと思っています。みなさんのご意見をお待ちしています。

尚、総会は正会員の過半数の参加を持って成立します。

お忙しいこととは思いますがぜひ多数の皆様のご参加をお待ちしています。

*どうしても都合がつかず欠席される方は同封のハガキにて6月10日までにお知らせください。

会報「石川守る会」NO.100号!!発行

1996年(平成8年)7月に「石川県重症心身障害児(者)を守る会」が結成され、9月に第1号を発行してから今号で100号になりました。

石川県では平成2年当時義務教育で教育が終了になる訪問教育にも高等部を作って欲しいという保護者のみなさんの声で「石川県重症心身障害児の高等部をつくる親の会」が結成されました。

署名活動や教育委員会や県知事への陳情などを重ねた結果翌年中学卒業後の3年間の教育延長が保障され、その後高等部として認められることとなりました。

第三種郵便物承認 HSK通巻 5719 号 2023年6月13日発行

その後この運動は全国にも拡がり、文科相が訪問教育の高等部を制度化することになりました。

重症心身障害児の高等部をつくるという当初の目的は達成したのですが、せっかくできた会なので、これからは重症心身障害児(者)の医療、教育、福祉の向上を図ることを目的として「石川県重症心身障害児(者)を守る会」として発足しました。

「最も弱いものをひとりももれなく守る」という「全国重症心身障害児(者)を守る会」の理念の元、みんなが安心して充実した日々を過ごせるよう取り組み始めました。

以後、感覚的体験プログラムでの音楽療法、車椅子ダンス、スヌーズレン、レクリエーション、音楽会、オルゴールセラピー・・・など、かんぼの郷での療育キャンプ、レスパイト事業のハートポップ、各専門家の先生たちをお呼びしての介護交流セミナーなど本部からの補助も受けながら様々な行事を実施してきました。

また保護者のみなさんが楽しみにしておられた昼食会もコロナ前までは年2回程度開催していました。

さらに3度の東海・北陸ブロック大会、初めての全国大会の開催もみなさんのご協力の下担当する事ができました。

会員のみなさんのご協力のお陰で楽しい取り組みやためになる勉強会などに取り組んだ様子が今までの会報をみると懐かしく思い出されます。

石川県医療的ケア児支援センターこのこの主催

「医療的ケアが必要な子どもとその兄弟の語り」の会が開催されました!!!

3月25日(土)地場産業会館にて上記の会が開催され、本会会員の永井さんの長男一貴さんのご兄弟が話されました。

弟さんは小さい頃からバイオリンのレッスンを受けていて家でも一貴さんの横で弾いていたが、その音は兄に伝わっていると感じていた。またその後医王病院でも演奏した時も、みなさんの心に伝わっていると感じられた。

中2のとき一人で留守番したことがあり、兄の立場になってサポートすることを学んだ。自由研究で「兄の気管切開からの吸痰について」まとめたこともある。

妹さんは小さいときは母と一緒に兄の付き添いに行くのは楽しかった記憶がある。

少し大きくなって兄と一緒にいるときに少し恥ずかしかったこともある。母に兄の障害のことを聞いたら「あなたの兄は一貴しかいない」と話してくれた。

中2から吸引出来るようになって、自分も兄を守ることができると感じた。看護師になったがそれは兄の為だけではなく命の大切さを学んだからです。

当日は会場に入りきらないほどの参加者で、関心の高さが伺われました。お二人の気負いのない自然なお話にみなさん引き込まれたようでした。

第三種郵便物承認 HSK 通巻 5719 号 2023年6月13日発行

「守る会」へのご協力ありがとうございます。

昨年度も多数の皆様から賛助会費並びにご寄付を頂きました。

重い障害のある人達のために有効に使わせて頂きます。

泉達郎様 横井透様 谷内隆宏様 山本信一様 越坂由紀子様 西脇瑞枝様
山畑寿美子様 木下浩美様 和泉美智枝様 山田美智子様 中田勝久様
東清美様 新保祐美子様 犀川明子様 松田好子様 山本久男様 若村修様
星山敬俊様 越野亜都子様 山本衛様 西田淳子様 匿名の方

正会員・賛助会員のみなさまへ

新年度会費納入についてのお願い

日頃より本会の事業にご理解とご協力賜り、感謝いたしております。
コロナ禍の下皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。会員の皆様には引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

賛助会員の皆様には「もっとも弱いものをひとりももれなく守る」という本会の趣旨にご賛同頂き深く感謝いたしております。今後とも重症児者の幸せのためによりしくお願い申し上げます。

つきましては本年度の会費を同封の振込用紙にて納入下さいますようお願い申し上げます。尚会費については以下の通りです。

正会員の方：年額1万円（全国・・8600円、石川・・1400円）

賛助会員の方：年額5千円（全国） 1口1千円（石川）

*会費の中には会報の購読料も含まれています。

*尚今年度に限り正会員の方の会費は全国分の8600円のみ徴収します。

お間違えのないようお願いいたします。また振込用紙にはお名前の記入を忘れないようにして下さい。よろしくお願い致します。

編集人	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先	929-0123 石川県能美市中町ツ 88-1 TEL 0761-56-0610
	会長 山本 衛
発行人	北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 312 番地
定 価	30 円